

地区R財団委員会・地区補助金小委員会

R Iからの「**未来の夢計画**」の指標により地区R財団の試みとして、R財団が抱える多くのプログラムを一括整理し、解り易い活動方針に改め、**地区財団活動資金(DDF)**による4つのプログラムにまとめられました。その1つが地区補助金です。地区R財団委員会は2790地区と全てのクラブがより良いクラブになる為のサポートとして、地区補助金の活用を考えています。

使いやすくなった地区補助金を活用して各クラブが奉仕プロジェクトを実施することで、クラブの活性化に繋がると考えます。そして2790地区全てのクラブが地域社会に貢献する事により、ロータリー活動が地域社会の発展に重要であることが広報され、地域の方々にロータリークラブへの理解が深まることで会員増強にも繋がっていくと考えます。ロータリーの「より良き社会を作る」様々な活動がロータリーの発展に繋がります。その為に各クラブが平等にプロジェクトをおこなえる様に、地区R財団委員会が推進していく事をご理解ください。今後はすべてのクラブから地区補助金申請が挙がるよう枠を広げていきたいと考えています。そのために財団は、各クラブに寄付をお願いするにあたって、財団委員会の財務報告、寄付金の使途などを明確におこない、各クラブが財団の活動方針を理解して頂いた上で寄付をつのり、各クラブが地区補助金を活用して、より内容の濃いプロジェクトを実施することで、各クラブの活性化に繋がればと考えています。今年度の地区財団活動資金の財源は3年前の皆様からの寄付金です。逆に言いますと、今年度皆様からお預かりした**年次基金寄付**の元金は3年後に地区へ戻されます。これが**シェアシステム**です。寄付金は奉仕活動を目的とし、地区財団活動資金(DDF)を確保するための寄付です。そして各クラブが奉仕活動を実施する為の活動資金として活用できます。

今年度2790地区では、地区補助金の上限を事業費の半額かつ30万円以内と決定しております。今後、地区補助金をより多く配分するためにも、地区会員の皆さまからの年次基金寄付をお願い致します。2013 - 2014年度から目標額を1人当たり130ドルにして頂きそれ以上の寄付をお願いしてきました。次年度のクラブ活動計画書を作る際には、是非とも一人当たり130ドルを目標として頂きまして、目標を達成され、更に目標以上になりますよう宜しくお願いいたします。

【地区補助金】

- ・地区補助金は、地域または海外でR財団の使命に添った短期(単年度)のプロジェクトを実施するために活用できます。
- ・クラブからの申請方法や期日など、地区独自の手続きと方針を決めています。

【クラブの参加資格認定】として

- ① 「クラブの参加資格認定：覚書（MOU）の内容を理解し、活動実施年度のクラブ会長と会長エレクトが、記載された条件と要件に従うことを誓約し、署名して地区に提出する。
- ② 地区ロータリー財団・補助金管理セミナーにクラブから少なくとも1名の会員が出席すること。この2点を第2790地区ではMOU締結と補助金管理セミナーへの出席を追加要件として義務付けています。
 - ・クラブの参加資格認定の有効期限が1ロータリー年度です。従ってロータリー地区補助金を申請しようとするクラブは、毎年度この認定を受ける必要があります。
 - ・地区補助金（グローバル補助金）は、R財団の使命に関連するプロジェクトで、ロータリアンが積極的に参加するものでなければなりません。
- ① **ロータリー財団の使命** ロータリアンが健康状態の改善に努め、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できることです。基本方針として（平和・紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）
- ② **ロータリアンの積極的な関与** 補助金を申請して活動するプロジェクトは、ロータリアンが積極的に関与するものでなければならない。

【申請手続きでの注意事項】

次年度（2016 - 2017年・青木年度）に実施計画される地区補助金プロジェクトの申請についての流れです。R Iからの要請で地区補助金は7月1日からスタートするために、青木年度での申請については今年度、来年の3月末には締め切り、4月末までに地区R財団委員会と奉仕プロジェクト委員会の連携により、地区補助金申請について精査し、5月にはR Iに一括申請をします。6月末までに認可を受けませんと青木年度スタートに間に合いません。今後12月のクラブ年次総会で次年度の会長を始め役員の方々が選出されます。その方々と来年1月に開催されます補助金管理セミナーでMOU（覚書）を結んで頂き、同時に奉仕プロジェクトを検討され、補助金を申請して下さい。補助金申請期間が短い為に、プロジェクト申請を出しにくい事や、各クラブにおいては次年度の奉仕プロジェクトを押し進める事で諸問題が生じるかと思いますが、7月1日からスタートする為に各クラブのご協力をお願いします。次年度の役員の方々が決まってから奉仕プロジェクトを検討されても時間が足りなくなる事から、次年度以降の奉仕プロジェクトについて今から長期計画の立案に入って頂きたく、お願いを申し上げ、ご協力よろしくお願い致します。